

新A.L.T.着任



昨年七月に退任したアイダ先生に代わり、本校A.L.T.にジェニファー先生が着任した。そこで、新聞部ではジェニファー先生にインタビューを行った。

— Can I have your full name? (お名前を教えてください。)

I am Jennifer Jane Elizabeth

新聞部の取材に答えるジェニファー先生

Brokenshire (私はジェニファー ジェーン エリザベス ブロークンシヤビヤ)

— Where are you from? (あなたの出身はどこですか?)

I am from the UK. (私はイギリス出身です。)

— What is your favorite food? (あなたの好きな食べ物は何ですか?)

I like pizza very much in the UK and I like nagashi-somen in Japan. (私はイギリスではピザが好きで日本では流しそうめんが好きです。)

— When did you eat nagashi-somen? (いつあなた流しを食べましたか?)

I have been to Kyoto before. Then I ate nagashi-somen for the first time. (私は以前京都に行きました。その時に初めて流しを食べました。)

— What do you have anything that you want to do in Japan? (あなたは何か日本でやりたいことはありますか?)

I am very interested in some Japanese cultures. So, I want to do Wadako. And I have already started studying Japanese. (私は和太鼓をやりたいです。あと、既に日本語の勉強も始めています。)

— Please give us your message. (私たち二水生にメッセージをお願いします。)

I think Nisui high school students are studying hard so good. Let's have fun study English together this year. (私は二水生は勉強熱心でとても素晴らしいと思います。今年は英語と一緒に楽しんで勉強しましょう。)

先生の小部屋 中居茉莉先生の巻 全ての経験には意味がある

今回の先生の小部屋では、現代文と古典の授業を担当している中居茉莉先生に学生時代の経験や教師になってからの話を伺った。

— 先生の学生時代のお話を聞かせてください。

子供のときからおよそ二十年間、ピアノを習っており、そのためか、音楽が好きになりました。そして、七尾高校では吹奏楽部に所属し、吹奏楽部のコンクールでは金賞を獲得しました。今思い出してみれば、とても充実した部活動だったと思います。

— 先生の体験した苦労について教えてください。

私は小さい頃から身体が弱く、学校は欠席しがちでした。大学に入学して三年目には病気で一年間休学したこともあり、そのような経験から、自分は多くの友達や先生に支えられて生きていくということを感じました。また、病気療養中の時間を利用して様々なジャンルのことを学んだことで、この世界は広く、自分の知らないことがたくさんあるのだということを知り、常日頃から、色々なことを学んで生きていくことに決めました。ですから、このような幼い頃の欠席しがちだった日々も決して無駄ではなかったと思っています。

— 先生が教師になろうと思ったきっかけを教えてください。

先生が教師になろうと思ったきっかけは、自分が今までに周りの色々な人に助けられて生きてきたので、今度は自分が他の人に対して恩返しをしたいと思ったからです。

— 先生が教師になってからの話をお聞かせください。

高校生のようない人々から様々な話を聞いたり交流したりするのは、自分にとってとても楽しい時間です。しかし、教師という職業は大変な仕事です。自分自身で多くのことを理解することと生徒に教えることがとても大変です。

— 最後に二水生にメッセージをお願いします。

これから皆さんが送る人生は楽しいことばかりではなく、辛いこともあると思います。しかし、辛い経験からも多くのことを学べ、他人を理解したいと思う心を持つてほしいと思います。

— 目指す教師像を教えてください。

私は、勉強のことももちろん勉強以外のいろいろなことで困っていたり悩んでいた人々がいたときに、その人と同じ目線になって考えて、その人のことを一生懸命に支えたいと思っています。



学生時代を語る中居先生

命を支えられる先生になりたいと思っています。しかし、自分はまだ教師としての経験も浅く、未熟だということも自覚しており、これから自分の理想の教師に近づけるように一杯頑張りたいと思います。

— 最後に二水生にメッセージをお願いします。

これから皆さんが送る人生は楽しいことばかりではなく、辛いこともあると思います。しかし、辛い経験からも多くのことを学べ、他人を理解したいと思う心を持つてほしいと思います。

— 目指す教師像を教えてください。

私は、勉強のことももちろん勉強以外のいろいろなことで困っていたり悩んでいた人々がいたときに、その人と同じ目線になって考えて、その人のことを一生懸命に支えたいと思っています。

のぞいてみよう! 警察官編 職業選択の窓



今回の「職業選択の窓」では、石川県警察の協力を得て、日々私たちが危険から守ってくれている警察官を取り上げる。

警察官の仕事は市民の安全を守ることだ。地域のパトロールや事件・事故の捜査や未然防止活動を行っている。他にも、行方不明者の捜索、災害時の救助活動なども行っており、その業務内容は多岐にわたる。

通常の業務

警察官になるには、警察官採用試験に合格する必要がある。採用試験は警察官A (大卒・大卒見込) と警察官B (大卒・大卒見込以外) の二つに分けて行われ、どちらも三十一歳までに受験しなければいけない。どちらも採用までの流れは同じで、試験案内を最寄りの警察署等で入手した後「受験申し込み」→「試験」という形になる。試験は「段階に分かれており、第一次試験では教養試験や体力試験が行われ、二次試験では面接が行われる。これらの試験に合格すると、石川県警察本部長から採用内定の通知が届く。正式な採用が決まると警察官学校に入校し、初任科生(しょにんかせい)として警察官に必要な知識や技術を身につけていく。

警察官になるには

警察官になるには、警察官採用試験に合格する必要がある。採用試験は警察官A (大卒・大卒見込) と警察官B (大卒・大卒見込以外) の二つに分けて行われ、どちらも三十一歳までに受験しなければいけない。どちらも採用までの流れは同じで、試験案内を最寄りの警察署等で入手した後「受験申し込み」→「試験」という形になる。試験は「段階に分かれており、第一次試験では教養試験や体力試験が行われ、二次試験では面接が行われる。これらの試験に合格すると、石川県警察本部長から採用内定の通知が届く。正式な採用が決まると警察官学校に入校し、初任科生(しょにんかせい)として警察官に必要な知識や技術を身につけていく。

二水OB

二〇一五年八月時点で、石川県警察学校には二水の二水OBの方がおられる。その二人にお話を伺うことが出来た。

佐々木貞人巡査

— 警察官を志したきっかけはなんですか?

高校時代に外国人の方に英語で道を聞かれた時に上手く道を教えられなかったことが僕にとって心残りでした。大学に行ってもそのことが心に引っかかっていて、就職の際に、「この心残りを解消するために何が出来るか」と考えました。その時、僕にとって警察官は道案内をしているイメージがあったためそれが警察官を志すきっかけになりました。

武田真典巡査

— 警察官になつたきっかけを教えてください。

小さい頃からパトカーや警察官に憧れていました。警察官は、警察学校の生徒でも校外で仕事をするときなどは制服を着て活動します。石川県警の代表として地元の方の視線を受けることになるので、責任感が強くなったと思います。



二水OBの武田巡査

— 警察官になつたきっかけを教えてください。

小さい頃からパトカーや警察官に憧れていました。警察官は、警察学校の生徒でも校外で仕事をするときなどは制服を着て活動します。石川県警の代表として地元の方の視線を受けることになるので、責任感が強くなったと思います。

二水ライブラリー 寺山先生

このコーナーでは、今回、主に一年生の英語の授業を担当しているらっしゃる寺山穂先生に、二水生に推薦する本を伺った。

— 先生のおすすめの本を教えてください。

「八湖の雪」という本です。この本は、高田郁作の「みをつくし料理帖」シリーズ



本の良さを語る寺山先生

「みをつくし料理帖」シリーズ

— この本の好きなシーンや見所を教えてください。

主人公の藩という女の子がお客様に料理を出して、美味しそうに食べているお客さんを見ているシーンはとても好きです。「とろとろ茶碗蒸し」や「ピリ辛かつおでみて下さい。」

— 最後に二水生にメッセージをお願いします。

この本を読むと苦難を乗り越えようとする意志や何事にも挑戦する気持ちが学べるので、是非読んでみて下さい。

「かっこいい」という想いをもちました。大学時代は東京にいたのですが、東京に出て地元石川県の良さを改めて実感しました。そこで、地元のためになる職業を考え、警察官になろうと決意しました。

— 警察官に採用されて、感じていることはありますか?

警察官は、警察学校の生徒でも校外で仕事をするときなどは制服を着て活動します。石川県警の代表として地元の方の視線を受けることになるので、責任感が強くなったと思います。

— お二人ともありがとうございます。



警察学校内の射撃場 旗が上がっているのは使用中の意味

編集後記

記事に掲載した通り、当部は全国高校新聞年間審査賞にて優良賞、また第64回石川県高等学校新聞コンクール総合の部で優秀賞、他に部門の部では学芸賞、論説賞を受賞しました。これも新聞作りにご協力頂いた皆様のおかげです。

今号は、先輩方が引退して新体制となって初めての新聞でした。今回の紙面では、新たに校内の様子をできるだけ多く取り上げるために「伝承掲示板」を企画しました。これからは校内に目を向けた新聞を作っていくと考えています。もし、部活動や生徒会などで全校に向けて発信したいこと、新聞部に取り上げてほしい話題がある場合は、気軽に新聞部員に声をかけていただければ幸いです。

なお、今回も多くの方々に協力していただいた紙面を借りて感謝申し上げます。

佐村木俊哉 西 菜々子
宮東 聖尚 山田 宝
吉村 友輔 若林 冠汰